

松崎大盆踊り (8/11~16)  
大人も子どもみんなと一緒に輪になって  
盆踊り等を楽しみました。



第36回

第21回

# 花壇コンクール 街角の花コンクール

## 花

壇コンクールは、花いっぱい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域コミュニティの推進を目的に行われ、今年で36回目となります。

審査は、町長をはじめ、県伊豆農業研究センターの연구원や知識経験者、「花咲くしずおか」賀茂地域推進協議会事務局ら6人があたりました。



審査の様子

審査員は、参加した20団体の花壇を1日かけて回り、取り組み度、努力度、創意工夫度、技術度の4項目を採点しました。

表彰は、秋に行われる「さんさん松崎福祉大会」で行われるほか、上位の団体は、県が開催している「花咲くしずおか花いっぱいコンクール」に推薦されます。

### 【最優秀賞】

花の親睦会（小杉原）

### 【優秀賞】

活性会（池代）

峰寿会（峰）

### 【努力賞】

常盤会（伏倉）

東友会（東区）

松崎町花の会（建久寺）

松尾区（松尾）



最優秀賞 花の親睦会（小杉原）



優秀賞 峰寿会（峰）



優秀賞 活性会（池代）

## 街

角の花コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇、プランター等についても評価する機会を設け、花いっぱい運動の更なる推進を図ろうと行われているものです。

審査は、花壇コンクールと同日に行われ、取り組みの様子や工夫している点等について採点しました。

### 【最優秀賞】

黒田福市さん（東区）

### 【優秀賞】

山本善雄さん（指川）



最優秀賞 黒田福市さん（東区）

### 【問合せ】

企画観光課（42） 3964

## 小中学生による

# 帯広市と姉妹都市交流

# 松本市安曇地区と地域交流

小中学生が、夏休み等を利用して、北海道帯広市と長野県松本市安曇地区の小中学生と親睦を深めるために、それぞれの地域を訪問し、交流を図りました。

### 松崎から帯広へ

渡邊信吾松崎小学校教頭を団長とした、小学生ら14人が、7月29日から31日まで帯広市を訪問しました。



帯広空港にて記念撮影

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参り等その他、アイススケートで帯広の子どもたちと交流を深めました。

また、ジャガイモ掘りや牧場での搾乳体験、アイススクリーム作り等、帯広ならではの有意義な体験学習もできました。参加者たちは、この3日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れるとともに、素晴らしい夏の思い出を作ることができました。

### 松崎から安曇へ

土屋晴樹松崎中学校長を団長とした、松崎中学校2年生の一行52人が、8月21日から23日まで松本市安曇地区を訪問しました。

一行は松本市到着後、重文岩科学校と姉妹館提携を結ん



でいる旧開智学校や松本城を見学しました。翌日は、大正池から河童橋周辺を散策し、雄大な自然を満喫しました。午後からは安曇地区の中学生と交流会を行い、お互いの親睦を深めました。



大正池にて

松本市安曇地区の中学生ら21人が、7月16日から18日までの3日間の日程で松崎町を訪れました。初日は、役場を表敬訪問した後、干物作りや小泉商店で桜葉の摘み取り体験をしました。

2日目は、岩地海岸で地引網や海水浴を楽しみました。地引網では、みんなで力を合わせて網を引き、獲れた鯛やキス等は、夕食で食べました。

午後からは、松崎中学校2年生と砂の造形や海水浴を行い、交流を深めながら、楽しい時間を過ごしました。



岩地海岸にて地引網体験

### 安曇から松崎へ

帯広市子供親善訪問団の小中学生ら12人が、8月5日から7日までの3日間の日程で松崎町を訪れました。初日は、光る泥団子作りの体験をし、2日目は役場を表敬訪問した後、依田勉三翁にゆかりのある三余資料館や、大沢温泉ホテルを訪問し、勉三翁の話しに熱心に耳を傾けていました。

その後、松崎の子どもたちと一緒に岩地海岸で海水浴を行い、夜はミニホームステイでお互いの交流を深める等、楽しい夏休みの思い出を作ることができました。



牛原山にて記念撮影

### 帯広から松崎へ

### 【問合せ】

教育委員会 (42) 3971

# 児童館で楽しく遊びを学ぼう！



## ○児童館の場所

宮内332(松崎小学校の隣)

## ○利用時間

午前9時から正午まで

午後1時から午後5時まで

※10月から3月は、午後4時30分まで

## ○休館日

毎週日曜日・祝祭日

児童館は、子どもに健全な遊びを教え、その健康を増進し、情操を豊かにするための施設で、0歳から18歳の子どもならだれでも利用することができます。

### 楽しい遊びがいっぱい！ 児童館の行事・イベント

#### ○すくすく広場

乳幼児を対象とし、手遊びやリトミック(リズム遊び)等を通して、親子のコミュニケーションを深めます。

#### ○育児グループ

未就園児とその保護者を対象に、毎月第1金曜日に開催し、子育て中の保護者と子どもたちが友達になる会です。

その他、月に2回程度、児童向けの工作や料理等の教室を開催し、オセロや卓球の大会等も行っています。

8月は、「カプラ」というフランス生まれの木のブロックで遊ぶ集まりやスライムづく

り、水遊び等を行いました。9月は、オセロ大会、マスコットづくり等が予定されています。

詳細は、「じどうかんだより」でお知らせします。



「カプラであそぼう」



「スライムづくり」

### 放課後児童クラブ 「まつぼっくりクラブ」

下校後、保護者と一緒に過ごすことのできない児童のために、遊び場や生活の場として児童館を利用する、放課後児童クラブ「まつぼっくりクラブ」を開設しています。

「保護者が労働等により、下校後保護者がいない児童」、「保護者が病気療養中のため、子どもの面倒が見られない家庭の児童」、「自営業等であるため、昼間留守がちで子ども世話ができない家庭の児童」等で、学校や自宅近くに児童を預けられる祖父母等がいない児童が対象です。

利用希望者は、児童館に申込書がありますので、必要事項を記入し提出してください。申込後、書類審査等により利用について決定させていただきます。

詳細は、児童館までお問い合わせください。

### 児童館を利用するときの約束

- 受付で名前を書いてから遊びましょう。
- 帰るときは、受付でマル印を書いてから帰りましょう。
- 水やお茶以外、食べたり飲んだりすることはできません。
- お金や大切なものは持ってこないでください。
- 使った物は元の場所に片付けましょう。
- 幼児は大人の付き添いが必要です。



©松崎町

松崎町マスコットキャラクター  
「まっちー」

【問合せ】  
児童館(42) 2063

# 三聖塾夏季宿泊体験学習(4泊5日)

教育委員会では、毎年、小学校5年生の希望者を対象に、「道の駅」花の三聖苑を拠点とした4泊5日の宿泊体験学習を実施しています。

今年度は29人が参加し、7月26日から30日までの日程で、朝・夕食を仲間と協力して自炊しながら、「自然・学習! 『ふるさと』とかかわり、つながろう!」をテーマに活動しました。



三聖会堂にて記念撮影

5日間の活動では、自分たちの食事となる干物作り体験・三聖にゆかりのある三余資料館や大沢温泉ホテルの訪問・竹とんぼ作り・アユ釣り・川の生き物観察会・理科実験教室・ピオトープ作り・座禅体験等を町内で活動している方を講師として、指導を受けました。それらの活動は、講師・ボランティアを含め、延べ78人の方に協力していただきました。本事業も13年目を迎えました。今年度の修了生29人に加え、449人の児童が夏季宿泊体験学習を修了しました。



干物作り体験

過去の修了生が中高生となり、三聖塾サポーターとして協力してくれることも、本事業の大きな特徴です。中高生サポーターは、5日間で延べ85人が参加しました。先生として指導したり、仲間として一緒に楽しんだりしながら活動を支えました。宿泊体験学習中は、三聖苑内への車の進入を制限させていたいただいたおかげで、安全に活動することができました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。



座禅体験

## B & G 松崎海洋クラブ・松崎町みどりの少年団 体験活動の紹介

教育委員会では、豊かな自然に親しみ、健康で明るい子どもたちを育てるため、各種体験活動を実施しています。海洋クラブは小学5年生から、みどりの少年団は小学4年生から入団できます。来年度の募集には、積極的な申し込みをお願いします。

### 【B & G 松崎海洋クラブ】

B & G 松崎海洋クラブは、昭和60年に設立されました。今年度は、5月下旬から毎週土曜日に、松崎海岸の清掃活動やカヌーの基礎訓練、萩谷海岸や安城岬までのカヌーツーリング等を行いながら、海に親しむ活動を実施しています。

8月16日(金)には、松崎海岸沖で、カヌーのタイムトライアルレースを行い、日ごろの訓練の成果を競い合いました。

冬には、みどりの少年団と合同での、スキー教室を予定しています。

### 【松崎町みどりの少年団】

松崎町みどりの少年団は、昭和55年に設立されました。今年度は、ヤブツバキの植樹・長九郎山へのハイキング・田植え・スズメバチトラップ作り等、身近にある豊かな自然に触れる活動を実施しています。



富士山宝永火口にて

【問合せ】  
教育委員会 (42) 3971

# しずおか子育て優待カードの 複数枚交付を開始します

## 【交付について】

これまででは、対象世帯（妊娠中の方または18歳未満の子どもがいる世帯）に原則として、1枚のみの交付でしたが、子どもの保護者であれば、ご希望の方のみカードの交付を受けることができるようになりました。

カードは子どもの人数ではなく、保護者の人数を基準としての交付となります。

## 【しずおか子育て優待カードとは】

県内の協賛店舗・協賛施設で買い物や飲食、施設利用の際に提示すると、店舗が定めた「応援サービス」を受けることができます（保護者と子どもの同伴が条件）。

※妊娠中の方は、母子手帳等の提示を求められる場合があります。

ありませう。  
県内の協賛店舗（施設）は、平成25年8月1日現在、6,310店あります。

協賛店舗にはステッカーが貼ってあります。

また、静岡県の優待カードのホームページでも確認できます。

### ○対象者

18歳未満の子どもの保護者

### ○交付場所

窓口税務課  
健康福祉課

## 【問合せ】

健康福祉課（42）3966

# 「道の駅」花の三聖苑 電気自動車用の 普通充電器を設置

「道の駅」花の三聖苑に、電気自動車用の普通充電器が設置され、無料で供用が開始されました。

この充電器は、伊豆西海岸に電気自動車の充電器が少ないため、県から無償で提供を受け、設置したものです。

○電気自動車の充電にのみご使用ください。

○使用可能時間は午前9時から午後5時までです。

○電圧は200ボルトです。

○車載のケーブルで充電してください。



設置された普通充電器

## 【問合せ】

（二財）松崎町振興公社  
（42）1881

# 松崎文芸

俳句

久々に外出の婆涼新た  
新涼や川面をたたくヤンマの尾  
幾度も常磐木落葉掃きにけり  
林間を寄せて返すや蝉時雨  
新涼や橋に佇ずみ鮎を観る  
新涼や葦一斎に波を打つ  
花莫蘆を敷きて客待つ峡の昼  
新涼や朝の漬物色深む  
新涼や握手で送り涙ふと  
新涼や病室にふと化粧の香  
新涼や闇のむこうの海の音  
新涼を山からの風連れて来る  
忘るるな御霊の告げる敗戦日  
新涼や基盤に向かふ平和な日  
新涼や辻の地蔵に話し掛け

佐藤 享  
小林 一男  
細矢 金治  
山本 一詞  
石田 宏  
高橋 信夫  
依田 ふじ枝  
稲葉 菊恵  
土屋 規矩子  
吉岡 うた子  
夏目 和子  
鈴木 すみ江  
清水 高子  
松田 美智子  
斎藤 みつ子

## イベント・催し紹介

### 第14回 伊豆半島太鼓フェスティバル

【日時】 9月14日（土）  
午後6時から

【場所】 松崎海岸特設ステージ

【内容】 伊豆松崎牛原太鼓をはじめ、地域で活動している太鼓グループ5団体が出演し、勇壮で華麗な演奏を披露します。



## 【問合せ】

企画観光課（42）3964

# ～まちのできごと～

7/13～8/25

## 松崎ジュニアボランティアクラブ海岸清掃



海水浴客等にぎわう夏の期間中、小学生から高校生までの有志約20人が、毎朝6時から約1時間かけて海岸の流木や空き缶、花火等のゴミを集めました。

8/15-16

## 夏まつり



岩地、雲見海岸では、15日に花火大会が行われました。翌日の16日には、松崎地区で灯ろう流しや花火大会等、多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

8/19～21

## 雲見海岸キャンドルロードの夕べ



雲見海岸では、観光客や地域住民の皆様は夜の海岸を楽しんでいただくため、海岸をろうそくの灯火で彩るキャンドルロードの夕べが行われました。

8/20

## 生涯学習ソフトボール春季大会閉会式



町内各地区から14チームが参加し開催された生涯学習ソフトボール春季大会の閉会式が行われました。2部に分かれたリーグ戦の結果、1部リーグでは、船田チームが優勝しました。

## 西伊豆町の豪雨災害から

7月18日(木)未明に伊豆地域で局地的な豪雨が発生しました。

すぐさま町内の被害状況を確認しましたが、幸いにも町内では被害が無く安堵していたところへ西伊豆町では、土砂崩れや河川の氾濫による道路の寸断や住宅への浸水等が発生しているという一報を受けました。

さっそく西伊豆町の災害対策本部を訪問し、被害状況を確認するとともに早期復旧のため協力を申し入れました。

その後、報道等を通じ、被害の状況が明らかになってくると、隣町の災害として見過ごすことができず、災害ボランティアとして職務に影響しない範囲で協力するよう職員へ伝えました。

今回、町職員からボランティアで延べ60人、職員派遣で延べ45人が復旧作業に従事しました。また、多くの町民の皆様

様や議員有志の皆様等、町内からたくさんの方がボランティアとして復旧作業を支援していただいたことに深く感謝します。

私自身も、ボランティアとして参加し、少しでも早い復旧が被災された皆様の一歩の励みになると強く感じました。

今回、ボランティアとして肌で感じた経験を活かし、町内で発生するあらゆる災害に迅速な対応が行えるように国や県、近隣市町への応援体制や職員等への連絡体制、ボランティアの皆様との連携方法等の見直しを行い、災害に強い町を目指していきたいと思います。

町民の皆様におかれましても、自主防等で開催するさまざまな訓練に積極的に参加し、防災意識を高め、災害に備えていただきたいと思います。

松崎町長  
齋藤 文彦

## 町長室からこんにちは ④5

### 町の人口と世帯

(平成25年7月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,489人	(-12人)
男	3,548人	(-13人)
女	3,941人	(+1人)
世帯数	3,056戸	(+2戸)
転入	7人	転出 8人
出生	4人	死亡 15人

### 町の交通事故

平成25年7月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	1件	(±0)
物損事故	13件	(+2)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(±0)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈4	小鹿梅吉	85	好文
南区	齋藤認	60	すみ
南郷	澤木繁明	63	照子
峰輪	鈴木堅	62	保利子
小杉原	和泉和作	88	美登子
八木山	土屋島子	84	昭雄
岩地	齋藤良平	86	ちとせ
松尾	齋藤平八郎	87	さだ子
明伏	土屋勝	79	至朗
江奈1	土田勇介	71	博
峰	山本順一郎	54	聖治
南郷	土屋まさ枝	80	幸一郎

### 戸籍だより (7月届出分)



### おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
宮内	史真	女	北館省吾
雲見	瑛蓮	女	鈴木恵美
峰輪	陽海	女	村田泰裕
宮内	美希	女	小鹿元希

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### ストップ!悪質商法被害

あなたも賢い消費者に<sup>(20)</sup>

#### 「恋愛感情を利用する商法」

雑誌等においてアンケートに答えると無料でプレゼントがもらえるというような広告等によって消費者にメールを送らせ、その後、異性の従業員とメールを繰り返して、展示会場に呼び寄せ、結局高額の商品を購入させる商法がみられます。

これらは、実にさまざまな手段で巧みに担当従業員に対する恋愛感情を抱かせる手段であり、このような販売方法は問題があることは明らかでしょう。

もっとも、一般的にこのような商法自体を違法性ありとして解決を図ることは必ずしも容易ではありません。

被害に遭わないように「無料」という広告に対して慎重に対応することが必要であることはいまや誰もが、被害に遭った場合は、早急に役場等に相談に行くようにしてください。



【問合せ】企画観光課(42)3964  
(文と絵) 司法書士 山田 茂樹

## 姉妹都市通信

### 帯広市から

#### 「銀の匙と帯広」

「銀の匙 Silver Spoon」をご存知ですか。十勝出身の漫画家、荒川弘氏原作で、単行本の累計発行部数が1,000万部を突破した人気漫画です。

十勝・帯広を舞台に、農業高校の生徒たちが農業を通じて食の大切さや命の尊さを学びながら繰り広げる青春ドラマで、今年7月にはテレビアニメの放送も始まりました。

作品の中では、農業は命を扱い、天候にも左右され、時間も労力もかかる大変な、しかし同時に、とても大切な仕事であることが語られています。

現在、農業を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。日本有数の農業地帯である帯広でも、農業経営体数や農業就業人口は減少してきていて、市場のグローバル化やTTP協定の行方等もあり、農業の先行きは不透明です。作

品の中でも、農業経営の困難がそのままに描かれています。

「銀の匙」の人気で、モデルになった十勝の農業高校の学科は入試出願率が2倍になる等、帯広はもとより「農業」にとつてまたとないPRになるとともに、農業を取り巻く現状が注目され、関心を持つきっかけになっていっています。

「銀の匙」は十勝・帯広の基幹産業である農業の現状、雰囲気をよく表しています。帯広を知っていたただくには大変お奨めですので、一度ご覧になってみてください。



十勝・帯広のイメージアップキャンペーンにも「銀の匙」が使われています。